

- For more records, click the Records link at page end.
- To change the format of selected records, select format and click Display Selected.
- To print/save clean copies of selected records from browser click Print/Save Selected.
- To have records sent as hardcopy or via email, click Send Results.

<input checked="" type="checkbox"/> Select All	<input type="checkbox"/> Clear Selections	<input type="button" value="Print/Save Selected"/>	<input type="button" value="Send Results"/>	<input type="button" value="Display Selected"/>	Format Free
--	---	--	---	---	----------------

1. ☐ 7/5/1 DIALOG(R)File 352:Derwent WPI (c) 2003 Thomson Derwent. All rights reserved.

008443529

WPI Acc No: 1990-330529/199044

XRAM Acc No: C90-143307

XRPX Acc No: N90-252578

Decolourising compsn. for e.g. animal fur - comprises a peroxide and an oxidising agent

Patent Assignee: HOYU KK (HOYU-N)

Number of Countries: 001 Number of Patents: 001

Patent Family:

Patent No	Kind	Date	Applicat No	Kind	Date	Week
JP 2234971	A	19900918	JP 8952562	A	19890303	199044 B

Priority Applications (No Type Date): JP 8952562 A 19890303

Abstract (Basic): JP 2234971 A

A decolouring compsn. comprises peroxide and oxidising agent and is in alkaline phase. The peroxide used includes sodium persulphate, potassium persulphate and ammonium persulphate. Amt. of the peroxide mixed is pref. 1-30% wt. Pref. oxidising agent includes H<sub>2</sub>O<sub>2</sub>, Na perborate, urea peroxide, melamine peroxide, Na sulphate, Na pyrophosphate-hydrogen peroxide, dibasic sodium phosphate-hydrogen peroxide adduct and Na percarbonate. Amt. of the oxidising agent mixed is usually 1-40% wt.

USE/ADVANTAGE - When fur of an animal is treated with the decolouring compsn., the fur of an animal can be changed to white or light-yellow for a short period of time, i.e. 20-90 min. (4pp Dwg. No. 0/0)

Title Terms: DECOLOUR; COMPOSITION; ANIMAL; FUR; COMPRISE; PEROXIDE; OXIDATION; AGENT

Derwent Class: D18; F06; P77

International Patent Class (Additional): A61K-007/13; B43K-001/12; D06L-003/02

File Segment: CPI; EngPI

Derwent WPI (Dialog® File 352): (c) 2003 Thomson Derwent. All rights reserved.

<input checked="" type="checkbox"/> Select All	<input type="checkbox"/> Clear Selections	<input type="button" value="Print/Save Selected"/>	<input type="button" value="Send Results"/>	<input type="button" value="Display Selected"/>	Format Free
--	---	--	---	---	----------------

## ⑫ 公開特許公報(A)

平2-234971

⑤ Int. Cl.<sup>5</sup>

D 06 L 3/02  
 // A 61 K 7/135  
 B 43 K 1/12

識別記号

庁内整理番号

A

6791-4L  
 8314-4C  
 6863-2C

⑬ 公開 平成2年(1990)9月18日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全4頁)

⑭ 発明の名称 脱色剤組成物

⑮ 特 願 平1-52562

⑯ 出 願 平1(1989)3月3日

⑰ 発 明 者 山 本 敏 彦 愛知県豊橋市三ノ輪町本興寺3-217

⑱ 発 明 者 倉 知 章 晤 愛知県江南市北野町旭36-1

⑲ 出 願 人 ホーユー株式会社 愛知県名古屋市東区徳川1丁目501番地

## 明 細 書

## 1. 発明の名称

脱色剤組成物

## 2. 特許請求の範囲

過酸化水素および酸化剤を含有し、アルカリ性に調整したことを特徴とする脱色剤組成物。

## 3. 発明の詳細な説明

## 〔産業上の利用分野〕

本発明は脱色剤組成物に関する。更に、詳しくは馬などの動物の毛を脱色するための脱色剤組成物に関する。

## 〔従来技術とその問題点〕

従来、馬などの動物の毛を脱色するための脱色剤としては過酸化水素が用いられてきた。しかし、過酸化水素のみでは脱色力は弱く、また、脱色力が弱いため、長時間の処理を要し、そのため毛質を著しく損傷させるという欠点があった。

## 〔発明の課題と解決手段〕

そこで、本発明者は上記欠点を解決すべく鋭意検討の結果、過酸化水素および酸化剤を含有し、ア

ルカリ性に調整した脱色剤組成物によれば、脱色力に優れ、短時間(20分～90分)の処理で脱色でき、かつ毛質の損傷を防止することができることを見出した。

本発明に用いられる過酸化水素としては、過硫酸のナトリウム塩、カリウム塩、アンモニウム塩などが挙げられる。その配合量は使用時の濃度で通常、1～30重量%、好ましくは3～18重量%である。酸化剤としては過酸化水素、過硫酸ナトリウム、過酸化尿素、過酸化メラミン、硫酸ナトリウム・過酸化水素付加物、ピロ硫酸ナトリウム・過酸化水素付加物、第二硫酸ナトリウム・過酸化水素付加物、過炭酸ナトリウムなどが挙げられる。その配合量は使用時の濃度で通常、1～40重量%、好ましくは2～20重量%である。

その他、本発明の脱色剤組成物には、アルカリ剤としてはアンモニア(28%アンモニア水)、水酸化ナトリウム、水酸化カリウム、アルカノールアミンあるいは炭酸、メタケイ酸などのナトリウム塩、カリウム塩、アンモニウム塩などが挙げ

られる。その配合量は使用時の濃度で通常、0.5～15重量%、好ましくは1～8重量%である。また、増粘剤としてアンアン質、海藻類、アルギン酸ナトリウム、メチルセルロース、ヒドロキシエチルセルロース、ポリビニルアルコール、ポリビニルピロリドン、ポリアクリル酸ソーダ、グアーガム、キサントガム、トラガントガム、カルボキシメチルセルロース、カルボキシメチルセルロースナトリウム、ケイ酸、ケイ酸・ $\text{XH}_2\text{O}$ 、カオリン等、界面活性剤として高級アルキルベンゼンスルホン酸塩、脂肪酸石鹼、高級アルキルスルホン酸塩、高級アルキル燐酸エステル等、pH調整剤として硫酸アンモニウム、硝酸アンモニウム、塩化アンモニウム、燐酸第一アンモニウム、燐酸第二アンモニウム、クエン酸、酒石酸、乳酸、コハク酸等、更に第4級窒素含有セルロースエーテル、ポリペプタイド（コラーゲン、ケラチン、エラスチン、フィブロイン、コンキオリン、大豆蛋白、カゼイン等のポリペプタイド）を配合するとより優れた仕上りが得られる。その他、キレー

果がある。これは本発明の脱色剤が効率的にメラニン色素を分解し、毛質自体の損傷を最少限に抑えることができ、微細な多孔性の毛となるため、その微細な多孔に墨を良好に保持することができるためと考えられる。一方、従来の方法（過酸化水素による脱色）では、長時間（3～4時間）の処理を要するため、毛の損傷が激しく毛皮質や間充物質が流失しているため、筆のまとまりが悪く、墨を吸収しても垂れ落ち易いという欠点がある。

他の用途として愛玩動物や毛皮製品の脱色も挙げられる。犬や猫などの愛玩動物の内、白い毛を有しているものは汚れや酸化などにより黄ばみが見られるが、本発明の脱色剤により美しい白色にすることができる。しかも、短時間で処理でき、刺激も少ないので生きている動物にも適している。また、毛皮製品を製造する場合も、本発明の脱色剤により美麗に仕上げることができ、また、長年使用すると汚れや酸化により黄ばみが見られるが、本発明の脱色剤によれば、毛質の傷みも少なく美麗に脱色することができるという効果を有する。

ト剤、香料等が適宜、配合される。

本発明の脱色剤組成物の剤型は粉末、液体、クリーム、ゲル、ペースト等種々の型態を取り得る。また、1剤式、2剤式、3剤式などの種々の剤型を取り得る。例えば、第1剤としてアルカリ剤、過酸化物および界面活性剤または増粘剤を含み、第2剤として酸化剤を含む2剤式の脱色剤組成物、酸化剤、過酸化物および増粘剤を含む1剤式の脱色剤組成物、第1剤としてアルカリ剤、および界面活性剤を含み、第2剤として酸化剤を含み、第3剤として過酸化物を含む3剤式の脱色剤組成物などが挙げられる。

#### 〔発明の効果〕

本発明の脱色剤組成物によれば、馬などの動物の毛を脱色する場合、脱色力に優れ、短時間（20分～90分）の処理で白色から淡黄色あるいは淡褐色に脱色することができ、かつ毛質の損傷を防止することができる。

また、脱色した馬の毛を筆として用いた場合、墨の吸収性は従来の筆よりも優れているという効

#### 〔実施例〕

##### 実施例1

##### 〔第1剤〕

過硫酸ナトリウム	32	重量%
過硫酸アンモニウム	16	"
メタ珪酸ナトリウム	14	"
無水ケイ酸	28	"
トラガントガム	3.5	"
エチレンジアミン四酢酸	1	"
塩基性炭酸マグネシウム	3	"
ステアリン酸ナトリウム	1.5	"
酸化チタン	1	"

##### 〔第2剤〕

過酸化水素 6重量%

精製水で100%にする。

第1剤40gに第2剤100gを加え、均一なペースト状になるようによく混合する。この脱色剤をハケを用いて馬毛に塗布し、30℃～40℃に加温して20分～90分間放置した後、洗浄すると、美麗な淡褐色に脱色された。

## 実施例 2

## 〔第 1 剤〕

過硫酸ナトリウム	43	重量%
過硫酸アンモニウム	22	"
炭酸ナトリウム	25	"
ケイ酸・ $\times H_2O$	6	"
カルボキシメチルセルロースナトリウム	1	"
エチレンジアミン四酢酸	2.5	"
ステアリン酸カルシウム	0.5	"

## 〔第 2 剤〕

過酸化水素 6 重量%  
精製水で 100% にする。

第 1 剤 30g に第 2 剤 100g を加え、よく混合し、懸濁液を調製する。この脱色剤に馬毛を浸し、30℃～40℃に加温して 20 分～90 分間放置した後、洗浄すると、美しい淡褐色に脱色された。

## 実施例 3

## 〔第 1 剤〕

第 2 剤 100g と混合したものを黄ばみのある白色の毛の犬に塗布し、20 分放置した後、洗浄すると美しい白色に脱色された。

## 実施例 4

## 〔第 1 剤〕

ポリオキシエチレン (10) ノニルフェニル エーテル	5	重量%
ポリオキシエチレン (6) トリデシルエーテル	4	"
オレイン酸	33	"
イソプロパノール	14	"
アンモニア (28%)	12	"
EDTA ニナトリウム	1	"

精製水で 100% にする。

## 〔第 2 剤〕

ポリオキシエチレン (4) ノニルフェニル エーテル	5	重量%
ポリオキシエチレン (9) ノニルフェニル エーテル	5	"
セチルアルコール	2	"

ポリオキシエチレン (100) ノニルフェニル  
エーテル 20 重量%

ポリオキシエチレン (150) ジステアレート 1 "

パルミチン酸 4 "

アンモニア (28%) 9 "

EDTA ニナトリウム 0.5 "

精製水で 100% にする。

## 〔第 2 剤〕

ポリオキシエチレン (4) ノニルフェニル  
エーテル 5 重量%

ポリオキシエチレン (9) ノニルフェニル  
エーテル 5 "

セチルアルコール 2 "

過酸化水素 (35%) 17 "

精製水で 100% にする。

## 〔第 3 剤〕

過硫酸ナトリウム 50 重量%

過硫酸カリウム 50 "

第 1 剤 70g に第 3 剤 30g を添加し、次いで

過酸化水素 (35%) 17 "

精製水で 100% にする。

## 〔第 3 剤〕

過硫酸アンモニウム 28 重量%

過硫酸カリウム 57 "

シリカ 10 "

メタ珪酸ナトリウム 4 "

ラウリル硫酸ナトリウム 1 "

第 1 剤 50g に第 3 剤 25g を添加し、次いで第 2 剤 100g と混合したものを黄ばみのある白色の毛の猫に塗布し、20 分放置した後、洗浄すると美しい白色に脱色された。

## 実施例 5

過炭酸ナトリウム 30 重量%

過硫酸カリウム 23 "

炭酸アンモニウム 12 "

ラウリル硫酸ナトリウム 9 "

カルボキシメチルセルロース 20 "

EDTA 1 "

無水硫酸ナトリウム 5 "

この脱色剤30gを100mlの水に溶かしたものを毛皮に塗布し、40分放置した後、洗浄すると美しい淡黄色に脱色された。

特許出願人 ホーユー株式会社